

会 議 事 録

1 会議名	平成 25 年度 第 2 回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	平成 26 年 3 月 24 日 (月曜日) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分頃まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟 4 階 大会議室
4 出席者名	(委 員) 本田委員長 長谷川剛副委員長 赤柴委員 磯部委員 今井いみ子委員 加邊委員 柄澤委員 鯉江委員 小坂委員 小林守委員 佐合委員 関委員 竹内委員 竹日委員 長谷川和明委員 藤巻委員 松田委員 米山委員 (事務局) 福祉保健部長 福祉総務課長ほか関係職員 介護保険課長ほか関係職員 長寿はつらつ課長ほか関係職員 健康課長ほか関係職員 長岡市社会福祉協議会事務局長
5 欠席者名	今井薫委員、小林啓一委員、小山委員、関本委員
6 議題	(1) 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について (2) 長岡市高齢者等生活実態調査の報告について (3) 地域密着型サービス運営部会及び地域包括支援センター運営部会の開催結果について (4) その他
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課企画係長	それでは、ただいまから平成 25 年度第 2 回長岡市高齢者保健福祉推進会議を開会します。

委員長	<p>本日、今井薫委員、小林啓一委員、小山剛委員、関本靖子委員は、所用のため欠席でございます。</p> <p>また、小林守委員は、所用のため途中で御退席されることをあらかじめお伝え申し上げます。</p> <p>それでは、資料の確認をいたします。事前にお配りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況報告書 ・資料 3-1 平成 26 年度基盤整備計画における公募選定結果 ・資料 3-2 平成 25 年度第 1 回長岡市地域包括支援センター運営部会（会議内容） <p>また、本日配付資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況報告書の訂正版 ・資料 2 長岡市高齢者等生活実態調査報告（概要） ・委員名簿 ・本日の配席図 ・さいわいプラザの御案内チラシ <p>以上でございます。不足等ございませんでしょうか。</p> <p>なお、資料 1 につきましては、訂正箇所が 2 点ございます。1 点目は 16 ページ第 2 節 1 「一人暮らし高齢者の見守りサービスの実施」の数値の表の下にある進捗状況のコメントを訂正しております。2 点目は 23 ページから 31 ページまでの順序に誤りがありましたので、訂正しております。</p> <p>大変申し訳ございませんでした。</p> <p>それでは、本日の議題に入ります。ここからは、委員長の進行をお願いいたします。</p> <p>ごめんください。年度末、月末と何かとお忙しい中、今日は第 2 回長岡市高齢者保健福祉推進会議でございます。</p> <p>時間も限られておりますけれども、今日は主に平成 26 年度まである第 5 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況の確認が一つ。そして前回、皆様にお諮りした高齢者等生活実態調査、今までより 1 年早く行い、この結果を基に新たな第 6 期の計画を立てるというものですが、この実態調査の報告が一つ。それから地域密着型サービス運営部会、地域包括支援センター運営部会もござい</p>
-----	--

介護保険課長	<p>ます。この3つでございます。</p> <p>時間が3時までということですので、早速始めていきたいと思っておりますので、御協力のほどよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、議題に入っていきます。よろしく申し上げます。それでは、2の「議題1．長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況」について、資料1が中心になろうかと思っておりますけれども、事務局から説明をお願いします。</p> <p>介護保険課長でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、説明資料といたしましては、「資料1 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況報告書」でございますので、こちらを御覧いただきたいと思っております。</p> <p>私のほうからは、高齢者等の概況ということで1～4ページまで御説明させていただきます。</p> <p>（資料1に沿って説明）</p>
長寿はつらつ課長	<p>長寿はつらつ課長でございます。私のほうからは5～6ページについて御説明させていただきます。</p> <p>（資料1に沿って説明）</p>
健康課長	<p>それでは続きまして、健康課長でございます。8～11ページについて御説明申し上げます。</p> <p>（資料1に沿って説明）</p>
長寿はつらつ課長	<p>続きまして、13～21ページを御説明させていただきます。</p> <p>（資料1に沿って説明）</p>
福祉総務課長	<p>福祉総務課長でございます。私のほうからは、22～23ページについて御説明いたします。</p> <p>（資料1に沿って説明）</p>
介護保険課長	<p>続きまして、24～31ページを御説明させていただきます。</p> <p>（資料1に沿って説明）</p>
福祉総務課長	<p>長くなりまして申し訳ございません。それでは32ページ以降について御説明させていただきます。</p>

<p>委員長</p>	<p>(資料 1に沿って説明) 説明は以上とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。非常にボリュームがあり、多岐にわたるもので、まず高齢者の概況ということで高齢化が進んでいることが切実に現れているというのが分かりますし、その後生きがいつくりと社会参加、健康づくり、介護予防、その支援体制、そして介護保険事業ということで、在宅、施設、地域密着というものでございます。さらに、地域で支え合う体制、環境の整備と、大変幅が広いものでございますけれども、ここに数字が表れているとおり、さまざまな支援、手立て、介護サービスがあったと思いますが、皆さんの中で率直に、何かこの辺はどうだろうか、質問はございますか。遠慮なくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>お願いします。33ページ、地域で支え合う体制作りボランティア銀行の利用がどんどん増えているという一文がありますけれども、確か、以前この場で、ボランティア銀行の地域を越えての利用も5年先を目処に考えていくというお話があったように記憶しているのですが、実は私は老いを考える会というところにおりまして、高齢者が非常に多いんです。そして一人暮らしの人が多くて、腰が痛くて動けなくなったというのがあって、もうちょっと地域を越えての利用があったらいいなど。</p> <p>やっぱりプライバシーとかいろいろありますし、ボランティア銀行の協力会員もいろいろあるんでしょうけれども、いわゆる約束事なんかもあって地域内では難しいという意見もあるんです。それで、5年後を目処にというお話をお聞きしたもので、どんなような見通しがあるのか、もしあったらお聞かせください。</p>
<p>長岡市社会福祉協議会事務局長</p>	<p>はい、社会福祉協議会事務局長でございます。確かにそういうお話をいただきまして、私ども平成28年度までに、いろいろな課題、利用料の問題などがある中、地域をいままで市内41地区で、地区ごとにサービスを提供してまいりました。ただ、長い間ずっと同じやり方をしてまいりまして、委員がおっしゃるとおり、いろんな課題が出ております。この平成28年度までに具体的に詰めていこうということで、検討に入っています。</p> <p>これまで行ったこととしましては、双子の子が生まれてその育児</p>

	<p>ができないという方がいまして、短期間ではございますけど、地域を越えて支援をしたという例はございます。</p> <p>ただ、その場合に今、原則は地区ごとにサービスを提供しているものですから、両方の地区でよく話し合いをしていただいて、両方がうまくいくよということであれば、可能でございます。</p> <p>法で縛られているものではありませんので、可能なのですが、サービスを提供するにも協力会員の登録をしていただいて、ボランティア保険を掛けてスタートするわけですけれども、一つの課題としましては協力会員が高齢化していまして、辞めていかれる方も少なくないことです。地域にお願いしても、一番期待していた団塊の世代が元気がないものですから、また年金制度も変わってしまって職場に継続で勤められるということもあるので、人数が多い60代の方にも働きかけをしています。</p> <p>協力会員を増やさないと地区の活動はなかなか難しいので、同時に地区を越えて、例えば隣の地区であれば、行ったり来たりもそう大変でない聞いております。それらを含めて今検討させていただいております。</p>
委員長	<p>28年度を目処にやれるところから、検討をしているということでございますので、それまでにできればより良いわけでございますけれども。</p>
委員	<p>それで思うのですけれども、協力会員の研修はどうかたちでされているのか、私は最初から協力会員に登録しているのですけれども、研修ってあんまりないんですよね。それで、どういったかたちでされているのか教えてください。</p>
長岡市社会福祉協議会事務局長	<p>まず、会員となっただいた方については、各地区で視察であるとか、あるいは講師をお願いして講習をやるとか、それぞれ地区で取り組んでいただいているところでございます。そのために活動費の一部ということで、助成金等も共同募金の配分の中から差し上げているところでございます。これから新規でボランティア活動をしたいという方については、ボランティア大学で基礎講座から傾聴講座、介護の講座などいろいろ設けておりまして、そこで知識、技術を学んでいただいて、そこから地区の活動に入っていただくのもいいと思っております。</p>

	<p>初めての方については、自信がないとかいろいろな不安があると思いますので、そういった大学に入っていただいて、それから地域活動と、あるいは福祉団体、ボランティア団体の活動にも入っていただくように、必ず最後の終業式のときに、私どもからもそういったお願いをしているところがございます。</p>
<p>委員</p>	<p>それによる広がりとはどのような状態ですか。各地区で協力会員が増えたとか、そのような実態把握はされていますか。</p>
<p>長岡市社会福祉協議会事務局長</p>	<p>アンケートなどは取っておりませんが、全体の傾向として、今まで頑張ってきていただいた方が70代、80代になって辞めたいんだけど代わりの方がなかなか入っていただけないので、もうちょっと頑張っていきましょうとか、そういうことでやっていただいている、ということを経験談会、あるいは福祉団体もそうですね、会員の高齢化が進んでいるという現状があります。ですから、いろいろな働きかけを考えていかないと、継続した活動ができなくなるということになります。協力会員、団体であれば会員が入れ替わっていかないと継続した活動、事業にならないと思っておりますので、工夫をさせていただこうと。</p> <p>例えば、男性の料理教室であるとか、地区の取り組みの中で研修会を設けていただいたりとか、内容は地区にお任せし、一か所5万円が限度でございますけれども、そういう活動に対して15地区に助成をしていきたいと思っています。研修会もよろしいでしょうし、視察もよろしいでしょうし、あるいは実際にボランティア活動を体験する機会をつくっていただくのもよろしいかなと思います。内容についてはお任せするかたちでやっていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。ただ一つお願いしたいのは、そういうボランティアをするにあたっての秘密保持とか相手のプライバシーを守ることについて、社協のほうで地区に浸透させていくようにお願いできればと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ではよろしいでしょうか。</p> <p>今ほどの話は、地域住民型のボランティア、地域福祉活動がもう少し活動ができればいいでしょう、地区ではなくもう少しグローバルにやる方法はないだろうかということ。もう一つは研修やもう少し</p>

委員	<p>し多くのボランティアの方にやっていただくには、というお話でした。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>14ページ、地域包括支援センターのことなんですが、私ども民生委員協議会としましても、毎月の会合に出ておりますが、ここにもありますけれども、毎年総合相談件数がどんどん伸びていっています。おそらく忙しいところ、そうでないところとあると思いますけれども、地区によっては手一杯でというようなところもあるのではないかと感じております。私も民生委員として接点が多いものですから、いろいろな御相談をする際に、遠慮してしまう場合もあります。</p> <p>人員を何名増やすというようなことが分かりましたら、教えてください。よろしくをお願いします。</p>
長寿はつらつ課長	<p>長寿はつらつ課長です。地域包括支援センターは次のページにもありますとおり11か所ありまして、総勢47名くらいでございます。非常に多くて、一番小さい川口地区でも2名で、そのほか3名から5名くらいの配置を行っております。今言われたように、総合相談延件数も増えてきて、困難な事例も増えてきて相談時間がかなり大きく割かれてきていました。先ほど申し上げたように、実態把握、地域を回っているいろいろな把握事業をしておりますけれども、その事業を年々減らしまして、相談事業の方に時間を振り分けてきているというかたちです。</p> <p>今の人数で相談費用は3億円近く使っているもので、なかなかその人数を何人増やせばいいというような簡単なことにはならないところです。今の人員内で、できる限りのことをやりながら、それでも足りないようであれば、また人員増をいろんな機会を考えていきたいと思っておりますので、よろしく御協力をお願いします。</p>
委員長	<p>はい。よろしいでしょうか。特に民生委員の皆さまの相談のよりどころが、地域包括支援センターになるわけですがけれども。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>実績と推計・予測を評価するときに、計画値と実績が合っているときに、確かに計画がいい加減に作られなかったということの証明</p>

	<p>にはなるかと思うんですね。それは非常に良いことだろうと私も思いますが、いろんなものを評価するときに、本当はどこで評価したいのかが分からなかったんです。この資料を見たときに。</p> <p>例えばですが、25ページの介護保険サービスの見込み量の推計と実績があって、(1)に訪問介護とあって、年間35万回くらいで、計画が33万回ですから、これはほぼ計画どおりに行われているんだなということは分かるのですが、これは増えるのがいいと評価するのか、もっと言えば訪問介護は全員が元気になってゼロになるのが本当はいいわけですね。ですから、どこで政策目標を達成できたと考えるのかという評価を、どこかで一度議論をされた方がいいのかなと。もちろんこういうのを出すのはすごく難しいのですが、本当はそういう問題のような気がするんですね。</p> <p>厚生労働省がやっている失業者の職業訓練も目標に達成しないということを言っているんですけども、あれだって本当は失業者がゼロで、離職者の訓練はない方がいいんですが、どうもそういう評価になっていないというところで、その辺を一度お考えになっていただきたいなと。今回答を求めているわけではないのですが、私の意見としてそういう感じを受けました。</p> <p>計画の策定担当課としてお答えします。今回、この数字は評価というよりは、見込み量を出して実績値を挙げさせていただいたというところがございますので、委員がおっしゃられた政策目標という部分との関わり合いでいいますと中立的かなというところですけども、26年度に次期計画を策定させていただきますので、そのあたりについて検討していきたいと思います。</p>
福祉総務課長	
委員長	はい、どうぞ。
委員	<p>私も昔、予算を策定したことがあるんですけども、あるべき論でいうと予算も人員も天井がどこまでいくか分からないですね。官庁の場合、もう予算が決まってその中でやらなければならないとなると、本当は良くないかもしれないけど、現実的な値のところでは妥協しないと、乖離が大きすぎて次の計画が立たないと。官庁がつくる計画はだいたいこういうのが多くて、理想的なものにしようとする、人が足りないじゃないか、金が足りないじゃないかと、そこから先に進まないという事情があって、だいたい前年度に近い値を</p>

	<p>設定すると。これは理想的な評価じゃないんですね。現実的な値でもって、やっているというのが現状です。</p> <p>それとは別に、あるべき論を議論しなければならないんですけども、あるべき論を考えるとおそらく人も金も足りなくなる。じゃあ、足りなくなった分をどうするんだという話になるので、官庁がつくる計画はなかなかそういう理想的なものにはならないですね。長期計画は出るんですけども、年度内の計画には出にくいという性格になっています。</p> <p>だから、このように数値が出て、数値を出すのは前年度に比べてどれくらいの中に収めれば予算が通るかとか、人の定員も、要望はいくらでも上がるんですけども、できる範囲ということで制限を受けてしまうというのが現状。いいこと悪いことじゃなくて現状はそんな感じじゃないかということで、いつも出席しているんですけども。</p>
委員長	<p>計画値の見方、こうあった方がいいなということを見ながら計画値を出す見方も必要じゃないかというお話でございましたけれども、これでよろしゅうございますか。</p> <p>今日は御意見といたしますか、良い御提案が出てきておりますが、はい、どうぞ。</p>
	<p>さっと経過してしまいましたが、6ページの老人会の数が減っていると、加入者の数も減っていると。どうしようかと考えていらっしゃるようですが、地域包括支援センターですね。私どもには、こういう何十ページにもわたって統計資料が出てきましたが、あまり関係ないわけです。そういうことじゃなくて、もっと老人会はどうして減るんだろうとか、どうしてこれを増やした方がいいのかとか、それに対して地域包括支援センターの具体的な活動をもう少し促進していただければというふうに思うわけです。増やそう増やそうといっても、老人会の人数は、なかなか手がないわけですよ。なってもらわないと困るんですが、われわれ市民からすると、この問題は大変由々しき問題ですので、何かの機会を考えていただきたい。</p> <p>それからもう一つ、地域包括支援センターのところについて、あるのかないのか分からないんですが、老人福祉施設ですね、いろいろなランクの施設があるようですが、何かこれを一覧表で、われわ</p>

<p>委員長</p>	<p>れ一般の人にも分かりやすいものをつくってあるのか、なければ作っていただくというような、地道なデータをお願いしたい。ここに出てきている30ページにもわたるような資料は、役所の統計上の御要望に応えるものであって、われわれにはあまり関係がないということで申し添えて、これは要望でございますが。</p> <p>要望ですね。この数字は計画の基礎になってくるわけでございます。柄澤委員のいう相談の中で、もう少し事業がわかりやすかたちにならないだろうか。地域密着型 サービスは、このようなことを目的に、市内に何か所あって、というような具体的な事業が分かるようなものがあればなど、というようなことでよろしいでしょうか。では、これは要望ということで、捉えていただければと思います。</p> <p>今、老人クラブで委員は大変御苦労をされて、5人作戦などで外に出たり、皆さんの御意見を聴いたりされておりますけれども、何かありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>ずっと長い間の課題で、なかなか人が増えない。ここに書いてあるように、目的が多様化してきていてなかなか一つの組織に入って縛られて活動することをあまり望まない世代が多くなって、減る一方という頭が痛い問題がずっと続いています。どうしたらいいかっていう問題はみんな考えている問題ですが、またいい案があったら知らせていただけたらと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>老人クラブ連合会の中でも一番大きい課題ということで、また皆様のアイデアをいただきながら進めていければなと思います。老人クラブだけの問題というわけではなくて、全体の問題として考える必要があるのではなからうかなと思います。</p> <p>この他に何か。次の議題もありますので、他の会があるときに、また進めていっていただければと思います。</p> <p>続きまして、「議題2．長岡市高齢者等生活実態調査報告」です。昨年6月21日の会議でも皆さんにお諮りした、第6期の計画が27年度から始まるわけですがけれども、その手前で実態調査を実施しておこうということでございます。</p> <p>事務局よりお願いします。</p>

福祉総務課長	この調査については、長岡大学に委託させていただいておりますので、御報告いただければと思います。よろしくお願いたします。
長岡大学	<p>よろしくお願いたします。お手元の資料の資料 2を見ていただければと思います。</p> <p>(資料 2に沿って説明)</p> <p>量が多くて申し訳なかったです。報告は以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>時間が3時までということでございましたけれども、もう少しお時間をいただいてもよろしいでしょうか。申し訳ございません。</p> <p>ではただいまの実態調査は、報告として受け止めてよろしいでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>認定を受けている、受けていないは別といたしまして、見た感じでいうと、要介護4、5になると、この回答をどなたがしたのか、信じられるのかどうか、自分で回答するのが難しい人のデータも含まれているのではないかと思われるのです。</p>
長岡大学	<p>回答者について、6ページを御覧いただきたいと思います。要介護者の方はA票とB票になりますが、家族の方が回答しているものが多くなっております。A票であれば72%が家族の方が回答していると、B票であれば62%が家族の方と。</p>
委員	<p>それならば、本人ではなくて家族が答えた調査だとしないと、統計が失われてしまうのではないんですか。要介護4や5の人がこんな立派な回答ができるわけないんです。最後の方にいきますと、認定を受けている人も受けていない人もだいたい似たようなデータが出てきているということは、おかしい答えが入っているのではないかと感じてしまいます。</p>
長岡大学	<p>そのあたりは推測になってしまいますので、集計は票だけでやっておりますので、なかなかそこまでは。</p>
委員長	<p>回答のところで、何%が家族と一緒に答えたと説明が入っており</p>

長岡大学	<p>ますので。</p> <p>今の点ですけれども、回答者と要介護度でクロス集計をして、もう一度チェックをしてみます。つまり要介護度4、5の人は、ほとんど本人が答えていないということが示されればいいわけですし、もう一つこの設計の中で重要なことは、本人がどう思っているのかを知りたいというのが、そもそもありますので、介護している人がどう思っているのかという意見を聞きたいわけではないんですね。なので、最後の一部を除き、家族の人が答えてくださいという設計にはしなかったということがあります。</p>
委員	<p>そうすると無回答という欄があってですね、それならわかるんですよ。無回答欄がないんだから、そうすると誰かが誰かの名前で答えたというのが統計上数字に出ているということは、実際問題として、こういう数字になるわけがないんですよ。要介護度4や5の場合、家族の意見なんでしょうから。</p>
委員長	<p>要介護度は、どこで示されているのでしょうか。最初の属性で示しているのですね。今の段階では、それを読み取りながら見ていくということでしょうか。そうでないと、全部無回答になって、今度は介護の状態などがわからなくなってしまいますので、本人の状況をいつも見ている家族の方が回答しているものもあると、統計上といたしますか、そういうものの見方で読み取るというかたちで考えてみてはいかがでしょうか。そういう条件も一番初めに断っておりますので。そういうところをきちんと読み取らなければ、という委員の意見があったわけですけれども。</p>
長岡大学	<p>こういうアンケート調査の限界なんですけれども、アンケート調査の集計結果というのは当然のことながら、答えてくれた人の意見しかないんですね。答えていない人の意見は反映されていないということは、こういう調査をやるとき的前提として御理解いただきたいところです。つまり、先ほどのケースでいうと、たとえば3ページを見ていただくと、調査票Aの有効回答率は58.7%、つまり約6割しか答えていないと。ひょっとすると、一人住まいなどで、要介護4、5の人は誰も答えていないかもしれない。家族がいても、家族も介護が必要な方という場合には答えていない可能性もある。そ</p>

<p>委員長</p>	<p>ういう前提をふまえた上で、結果を読み取らないといけない、ということは何れ何れも思っていますし、そこがアンケート調査の限界というふうに御理解していただきたいと思ひます。</p> <p>そういういろいろな御意見というか御提案の中で、これを読み取りながら計画をつくるということで、前提条件がございますし、回答、無回答もございますので、その中で要介護4、5の方の分は主に家族の方が書いているというようなことを前提に進めていくということです。今の話も計画を立てるときに、読み取っていただきたいと思ひます。</p> <p>次に行きたいと思ひますけれども、よろしいでしょうか。では、「議題3 .地域密着型サービス運営部会及び地域包括支援センター運営部会の開催結果」について、ポイントだけお願いしたいと思ひます。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>資料3 - 1を御覧ください。 （資料 3 - 1に沿って説明） 以上です。</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>続きまして、資料 3 - 2をお願いします。 （資料 3 - 1に沿って説明） 以上であります。</p>
<p>委員長</p>	<p>各部会の協議事項ということで報告がございました。よろしいでしょうか。施設の方では和島地域、栃尾地域に今計画があるということでございます。</p> <p>それでは、議題（4）その他ですが、事務局から何かありますでしょうか。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>特にありません。</p>
<p>委員長</p>	<p>特にないということで、本日は最初に進捗状況、そして後半は実態調査ということで、皆様の率直な御意見をいただき、まだまだ皆様の方からと思ひましたらけれど、またの機会としたいと思ひます。それでは進行を事務局にお返ししたいと思ひます。ありがとうございました。</p>

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>ありがとうございました。長時間にわたりまして、時間が過ぎてしましまして申し訳ございませんでした。御協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、福祉保健部長より挨拶申し上げます。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>大変長時間にわたりまして、ありがとうございました。高齢者福祉計画につきまして、冒頭の資料説明から多岐にわたっておりまして時間を引っ張ってしましまして大変恐縮でした。</p> <p>しかし、今日いただいた御意見、御指摘いただいたことは、今後の策定の基本的なところでして、多々御指摘いただきまして、大変参考になると思います。</p> <p>来年度に入りまして、委員長さんからもお話しありましたとおり、第6期の高齢者の計画ということで、策定に入ってまいりたいと思います。御案内のとおり国全体で介護保険サービスを含めまして、いろいろな制度が大きく変わりつつあります。そのなかで、私ども市の分析といいますが実績の説明にもありましたように、サービスの見込み量につきましては、委員の御指摘にもありましたように、まだ計画としては2年目末でありますけれども、かなり想定から乖離をしている状況があります。これはある意味3か年のトレンドで推計を出しているわけですが、単なるトレンドの推計だけでは、この2年間だけでもかなりの変化があるのではないかなと、さまざまなサービスのそれぞれの状況を見ましても、見込みを下回ったり、あるいは上回ったりということで、世の中の実情が想定以上に変わりつつある、様変わりしているのではないかと、この数字からも見えるのではないかと考えています。</p> <p>今日御説明いただいたアンケート調査ですね。これは意向調査という趣向のものでございますけれども、また新年度になりましたら、在宅ケアについてはもう一度状況把握をさせていただいて、こういった意向調査と実際の需要の見込みといいますが、そういったものを重ね合わせていろいろな面から科学的にやっていきませんか、今までのようにある程度トレンドだけで推計していくというのは難しいのではないかと考えております。</p> <p>また一方で、団塊の世代の方が65歳以上になられたということで取り上げられていますが、その中で元気な高齢者の方々の活動の用</p>

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>意があまりないのではないかというのが、高齢者を取り巻く環境で大きな課題ではないかなと思っております。ボランティア銀行など社会福祉協議会ではいろいろな取り組みがされておりますが、それを含めまして、高齢者の方が介護予防というようなお仕着せではなくて、元気なままで高齢化社会を支えていくような仕組みづくりをしていくことを視野に入れていかなければいけないと思っております。そういった大きな課題があるわけですが、それを踏まえて来年度また策定を進めていきたいと思っております。</p> <p>本日、これで3か年にわたる委員としては、ひとまず任期満了ということでございますけれども、計画の策定や推進についてさまざまな立場でまた御意見をいただいて御協力いただきたいと思っております。ちょっと長くなりましたが、3年間にわたりまして、大変長い間ありがとうございました。また今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>この会議の議事録につきましては、後日お送りいたします。長岡市ホームページにも掲載いたしますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>お車でお越しの方におかれましては駐車券の無料処理をさせていただきますので、閉会后、事務局までお声掛けください。</p> <p>最後になりますけれども、冒頭に本日の配付資料ということで机の上にさいわいプラザに移転しますというチラシを上げさせていただきました。5月13日より、休日夜間診療所等が幸町のさいわいプラザに移転しますということです。</p> <p>それでは、本日はこれで閉会とさせていただきます。皆様、お忙しいところ大変ありがとうございました。</p>
<p>8 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>